

8・6ヒロシマ平和へのつどい2025

軍都広島137年、東京を含む日本全国大空襲
—沖縄戦—広島・長崎原爆ジェノサイドから80年
重慶爆撃からガザ・ジェノサイドまで
ヒロシマは何をなすべきか

8/5 (火) 17:00 ▶ 19:00 (16:30開場)

広島市まちづくり市民交流プラザ研修室ABC

(広島市中区袋町6-36)

資料代：1000円

* 呼びかけ文 *

8000万人という未曾有の死者を出した第二次世界大戦の終結から80年。東京を含む日本全国大空襲—沖縄戦—広島・長崎原爆ジェノサイドから80年。台湾、朝鮮、中国、アジア諸国の解放から80年。天皇制日本軍国主義国家は、連合諸国の軍事力と中国民衆の抗日武装闘争を核とするアジア・太平洋民衆の抵抗闘争によって、さらには自らがもつ無謀かつ独善的な侵略思考によって敗北しました。米国政府は、対ソ連・戦後世界戦略の観点から、軍事的には必要のない広島・長崎への原爆攻撃を行いました。天皇裕仁ら日本政府が「国体護持=天皇制の維持」に固執して、戦争を長引かせ、ポツダム宣言受諾を遅らせたことが、市民・兵士の大惨殺(※「虐殺」としないのは殺されたことに加え、死に至らせたことを加味したもの)を拡大し、原爆攻撃を自ら招く結果となりました。

したがって、天皇裕仁(天皇制)には原爆無差別大量殺戮を招き寄せた責任があります。さらに、日清戦争に始まる大日本帝国のアジア太平洋侵略戦争の中心的役割を果たした「軍都広島」による加害責任を一貫して私たちは、問題にしてきました。一方では、米国による原爆攻撃というジェノサイドの責任の追及は不十分なものとなっています。

私たちは、これらの責任追及を続けていますが、アジア太平洋各地での残虐・殺傷・破壊行為、日本全土の空襲と原爆による無数の死傷者と破壊、その後のイスラエル建国、パレスチナ人迫害、朝鮮戦争、ベトナム戦争、湾岸戦争、アフガン戦争、イラク戦争、ウクライナ侵略、ガザ・ジェノサイドに至る、非人道的行為の連続を断ち切れていません。

主催：8・6ヒロシマ平和へのつどい2025実行委員会

☎090-4740-4608 (久野成章) E-Mail 86tudoj.hiroshima@gmail.com

URL <https://8-6hiroshima.jpn.org/tudoj/tudoj.html>